

資料室だより 107

マタイ受難曲

バッハのマタイ受難曲のパート譜を全パート揃えて購入いたしました。オルガンのパートも2セットあります。通常楽譜店にも置いていませんし、国立音大にもパート譜はありません。これで当資料室には全集版スコア、合唱・独唱用のピアノ・ヴォーカルスコア、オーケストラ用パート譜（全23パート）すべて揃ったこととなります。バッハはBWV番号から検索できますので、マタイはBWV244番、と憶えてお探してください。

マタイ受難曲の演奏に際しては多くの方が参考書として手にし、少なからず演奏家に影響を与え続けているのが礒山雅著の「マタイ受難曲」（東京書籍）ではないでしょうか。当資料室も所蔵がありますので是非ご覧ください。日本におけるバッハ研究の第一人者の礒山氏がみずからの40代をバッハのマタイの研究に捧げた結実です。彼はバッハの神学を研究するためにドイツに渡りあらゆる方面から綿密にマタイを研究しました。その彼が今年の大雪の折、自宅近くで凍結した雪に足を滑らせて転倒し、帰らぬ人となりました。彼の著書をここに紹介するとともに慎んで心よりご冥福をお祈りします。

礒山氏関連で資料室が所蔵するのは「マタイ受難曲」の他に「バッハ＝魂のエヴァンゲリスト」（東京書籍）、訳書として「バッハ＝カンタータの世界」（東京書籍）があります。

また、神学的バッハ研究に関連しては次の書籍も新刊としてご紹介したいと思います。

＋深井智明・大角欣矢著

「憶えよ、汝死すべきをードイツ・プロテスタンティズムと音楽の歴史」

（日本基督教団出版局）

16世紀から20世紀前半までのドイツ・プロテスタンティズムの神学における「死」の問題を音楽史との関連で論述している学際的とも言える著作です。教会音楽にたずさわる、そしてここで勉強なさる皆さんにとって音楽というのは単なる癒しではなく常に死と向き合う、いいかえれば超越と向き合っているものだということは感じておられると思います。

（杉本ゆり 記）